

沖縄の交通、 このままで大丈夫？

様々な可能性を皆さんと検討します

沖縄では、都市の急速な拡大と人口の集中が進む一方で、少子高齢化や移動コストの家計負担や教育機会への影響といった社会的な課題も顕在化しています。こうした中、交通渋滞や公共交通の不便さが、日々の暮らしや地域の未来に影響を及ぼし始めています。

そこで県では、将来に向けた沖縄の新しい交通のあり方を描くため「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の検討に着手しました。

交通ビジョンを描くため、 「将来の生活や移動で大事なこと」を募集します

沖縄の交通課題や、将来の望ましい地域の姿について、広く皆様からご意見をお伺いするため、意見投稿フォームの設置と、オープンハウスを開催いたします。皆様からいただいたご回答・ご意見は「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の検討に活用させていただきます。

意見投稿フォーム(Web)

ご意見の回答は、特設ホームページの意見投稿フォームから投稿いただける他、オープンハウス会場で配布する用紙に記入いただくこともできます。令和8年1月15日まで受付中！



意見投稿フォーム



オープンハウス開催

県民の皆さんのご意見を幅広くお聞きする場として、「オープンハウス(パネル展示を中心とした情報提供)」を令和7年11月より県内各圏域で開催を予定しています。

オープンハウス開催期間は担当スタッフが常駐し、ご意見やご疑問について直接お伺いします。オープンハウスの参加予約は不要です。場所や日時は特設ホームページでご紹介しています。



特設ホームページ

皆さんのご意見や考えをお聞かせください！

沖縄が抱える交通課題とは

沖縄県内をめぐる社会課題

本島中南部都市圏の交通渋滞

- 那覇市の平日朝夕旅行速度は全国ワースト(全国30.8km/hに対し、那覇市10.5km/h)
- 交通渋滞による損失が、給与換算で年間約1,455億円(令和5年沖縄総合事務局)



さまざまな社会課題

- 【都市構造上の課題】**
 - 高密度な都市構造、急拡大する都市圏
- 【社会構造上の課題】**
 - 少子高齢化・人口減少化社会の到来、貧困問題
- 【近年の変化】**
 - 観光客数の大幅な増加、大規模開発予定地の発生
 - 社会資本の整備時におけるメンテナンスミニマムの概念の導入

公共交通の課題

- 公共交通利用者数の減少
- 割高な交通コスト
- 運転手不足等に起因するサービスレベルの低下(運航休止や減便など)
- 公共交通空白地域の発生

自然環境への影響

- 自動車由来のCO2排出量増加
- 2050年カーボンニュートラル

次世代交通ビジョンの位置づけ

沖縄県では、沖縄のありたい姿を描く「沖縄21世紀ビジョン」と整合を図りながら、沖縄県内の様々な社会課題を考慮した次世代交通ビジョンおきなわを策定します。ぜひ県民の皆さんと一緒に、将来に向けた新しい交通のあり方を考えましょう。

沖縄21世紀ビジョン「沖縄の将来像」

【県民が望む将来の姿】

- 公共交通機関により、交通渋滞が解消され、事故のない安全な沖縄
- 南北を縦断する鉄軌道等の公共交通システムを幹線として、路線バスやコミュニティバスが走っている沖縄

【克服すべき沖縄の固有課題】

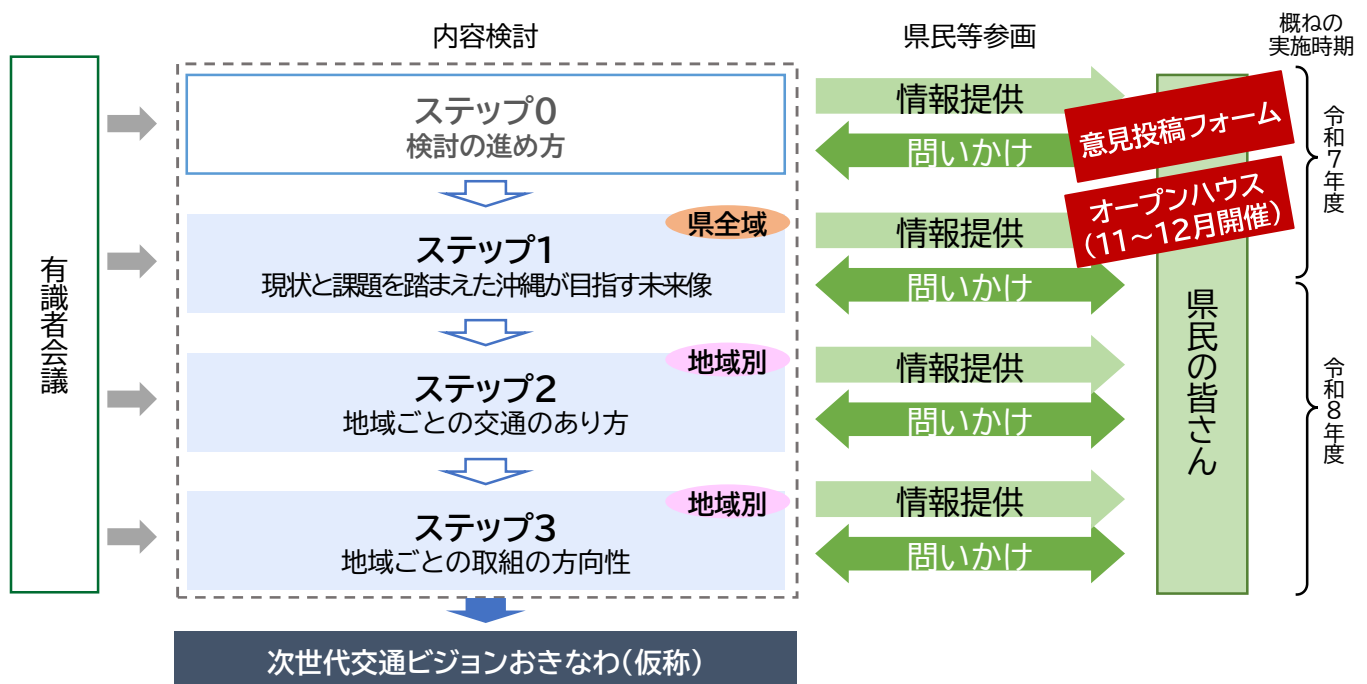
- 少子高齢化・人口減少化社会への対応
- 日常生活において誰もが利便性を確保できる交通環境の整備
- 社会資本の整備時におけるメンテナンスミニマムの概念の導入

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画

鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入(モノレール延伸、LRT、BRTの導入についても並行して検討)

ビジョン検討の進め方とポイント

本ビジョンの策定にあたっては、おきなわSDGsや沖縄21世紀ビジョンと同様のバックカスティングの手法を取り入れて、関連する政策分野との整合性の確認、市民参画(PI)手法を活用して段階的に論点整理を進めながら、県民の皆さまとの対話を通じて取り組んでまいります。



次世代交通ビジョンおきなわホームページ

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/dorokotsu/1012558/1012583/1036563/index.html>

交通ビジョンおきなわ

検索



お問い合わせ先

沖縄県企画部交通政策課

TEL:098-866-2045

受付時間: 平日9:00~17:15